

福井県立大野高等学校の総合学習における探究活動への関わり

#探究活動
#地域再生
#教育



横町スタジオにて大野高校在校生と大学生が交流

DATA

● 主な連携先・メンバー

大野市政策推進課 眞柄太作氏・小野田陽氏・奥村心拓氏／
関西大学大学院理工学研究科 伊東英輝／横町編集部

● 活動地域

福井県大野市

● 活動期間

2021 年度～継続中

● 活動資金

大野市受託研究

目的

高校生の探究活動の価値向上や援助、大野市の魅力や課題の再発見による地域への愛着醸成。

活動内容

地方での人口減少や都市部への一極集中が近年の社会問題のひとつである。そこで、地元で大学がなく、大学進学が定住や転出の転機となる福井県立大野高等学校の高校生に着目し、総合学習の「わたしが未来の市長プロジェクト」に参画した。複数回授業に参加したが、在学中や卒業後に地域活動へ積極的に関わる生徒が見られなかった。それは、地域活動への意識向上などが十分でないことや、関わる頻度の少なさが原因だと分析し、定期的な授業への参加に加え、横町スタジオでの活動の紹介を行うことで、横町スタジオの利用や探究意識の向上を試みた。その活動のひとつとして、上記の過



大野高校卒業生が横町スタジオに訪問し、
大学生や地域住民と交流

活動の成果

- ≫ 大野高校卒業後の学生による活動拠点での活動参加によって、関係人口が創出できたこと。
- ≫ 大野高校在学中の生徒が活動拠点での活動に参加したこと。
- ≫ 生徒の探究活動への意欲が向上したこと。

連携にいたる経緯

2018 年に大野市との間で連携協定を締結。大野市には大学がなく、高校生が大学生と関わる機会が少ないため、大野高等学校が総合学習の一環として行っている探究活動が高校生へのアプローチの場として有効だと考え、着目し、連携に至った。

去の授業での高校生の提案を基に自習室を横町スタジオで開放した。利用者からフィードバックをもらうなど今後の活動に向けてのヒアリングも行い、高校生が実際に提案した計画を実行することで、高校生の探究に対する学習意欲の向上が見られたことや、定期的に関わることの重要性を学ぶことができた。

自習室を利用し、互いに教え合いながら勉強する高校生



高校生の提案をもとに自習室を準備

今後の課題・目標・展開の可能性

- ≫ 高校生に関わる大学生がまだ少ないため、活動に興味がある大学生が参加できる仕組みをつくること。
- ≫ 今回の活動に加え、D-time という探究の授業に参画し、大学生の関係人口創出や意欲向上をめざす。
- ≫ 活動拠点で高校生が主体となって活動すること。

連携先からの一言

大学がない大野市において、関西大学の学生が市内の高校や高校生と協働・連携し活動を行えたことは、若者の地域づくりへの参画や地域への愛着心の醸成に非常に有意義な取組みであったと感じています。

(大野市政策推進課 奥村心拓氏)

環境都市工学部 教授 北詰 恵一 Kitazume Kei-ichi



専門は、土地利用・交通モデル開発、公共事業評価、地域再生等。産官学民連携による新しい政策技術の開発・実施を手掛け、地域再生や社会システムの構築をめざす。

